

新型コロナウイルス感染症の発生について

1 概 要

9月19日に新型コロナウイルス検査を実施したところ、新たに6名の方が陽性であることが判明しました。松江市内で667～672例目（県内1547～1552例目）の新型コロナウイルス感染者となります。

2 感染者の状況

例目 (県内)	関 連	居 住 地	症状・経過 行動歴等
667 (1547)	—	— — 松江市内 [軽症]	9月15日 のどの違和感 [発症日] 18日 市内医療機関を受診 19日 PCR検査を実施、陽性判明 発症2日前(9/13)以降：県内の勤務先に出勤。不特定多数への感染の恐れがある行動歴なし。接触者は把握。 発症2週間前(9/1)以降：県外移動歴なし
668 (1548)	県1532例目の濃厚接触者	30歳代 女性 松江市内 [軽症]	9月18日 発熱(37℃台)、のどの違和感、倦怠感、頭痛 [発症日] 19日 PCR検査を実施、陽性判明 発症2日前(9/16)以降：市内の勤務先に出勤。不特定多数への感染の恐れがある行動歴なし。接触者は把握。 発症2週間前(9/4)以降：県外移動歴なし
669 (1549)	662例目の濃厚接触者	40歳代 男性 松江市内 [軽症]	9月19日 発熱(37℃台)、頭痛、倦怠感、のどの違和感 [発症日] PCR検査を実施、陽性判明 発症2日前(9/17)以降：外出自粛、保健所による健康観察。 発症2週間前(9/5)以降：県外移動歴なし
670 (1550)	662例目の濃厚接触者	— — 松江市内 [無症状]	9月19日 発熱(38℃台)、倦怠感 [発症日] PCR検査を実施、陽性判明 発症2日前(9/17)以降：外出自粛、保健所による健康観察。 発症2週間前(9/5)以降：県外移動歴あり
671 (1551)	—	— — 松江市内 [無症状]	9月18日 発熱(38℃台)、咳、吐き気 [発症日] 19日 市内医療機関を受診、抗原定量検査を実施、陽性判明 発症2日前(9/16)以降：仕事や不特定多数への感染の恐れがある行動歴なし。接触者は把握。 発症2週間前(9/4)以降：県外移動歴なし
672 (1552)	—	— — 松江市内 [軽症]	9月16日 倦怠感、咳、痰 [発症日] 18日 市内医療機関を受診 19日 PCR検査を実施、陽性判明 発症2日前(9/14)以降：県内の勤務先に出勤。不特定多数への感染の恐れがある行動歴なし。接触者は把握。 発症2週間前(9/2)以降：県外移動歴なし

### 3 今後の予定

県内医療機関への入院もしくは宿泊療養施設等での療養  
感染者の行動歴、濃厚接触者等を調査し、健康状況調査及び必要な検査等を実施  
濃厚接触者へは最終接触日から2週間の健康観察を実施するとともに外出自粛を要請

#### 【市民の皆様へ】

- ★新たな変異株は感染しやすくなっています。大切な家族や友人を守るために、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」のより一層の徹底や、「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組み強化へのご協力をお願いします。
- ★家族が体調不良を訴えた時には、家庭内であっても、部屋を分ける、マスクをつける、小まめな手洗いや換気、共用部分の消毒などの感染予防策をとるようにしましょう。
- ★緊急事態宣言地域やまん延防止等重点措置地域との往来は控えるとともに、自治体から不要不急の外出自粛が要請されている地域への往来も慎重にご判断ください。やむを得ない仕事や、就職活動、看病・介護などでの往来を控えていただく必要はありませんが、体調管理に十分ご注意ください。
- ★会食の際には、感染防止対策を徹底された店舗を利用することはもとより、少人数(4人以下)、短時間(2時間まで)、体調不良の時は参加しないなど、感染リスクが高い行動を避け、安心安全に飲食・会食を楽しむための取り組みをお願いします。
- ★発熱や咳、倦怠感など、わずかでも体調不良を感じたときには、まず「仕事や学校を休む」「かかりつけ医に相談・受診する」「積極的に検査を受ける」などが、感染拡大の防止につながる大切な行動です。  
かかりつけ医療機関がない方は『新型コロナウイルス感染症健康相談コールセンター (0852-33-7638)』に電話でご相談ください。

#### 《参 考》

##### 1. 松江市内の感染者数 (9月19日時点)

672例

##### 2. 松江市内の検査件数 (9月19日時点)

		9月19日の検査件数	検査件数合計
検査件数		178	24,604
結果	陽性	6	672
	陰性	172	23,932

－ プライバシーを尊重した対応をお願いします －

新型コロナウイルス感染症は、誰でも感染する可能性があります。  
患者やその関係者、また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますようお願いいたします。